



# 全国社会福祉協議会 前期共通研修

## 高浜市学習等支援事業「ステップ」の概要



ASK NET

NPO法人 アスクネット

名古屋市熱田区沢下町8-5  
TEL 052-881-4349 FAX052-881-5567

E-mail [info@asknet.org](mailto:info@asknet.org)  
<http://www.asknet.org>



# 自己紹介

NPO法人アスクネット

認定キャリア教育コーディネーター  
城取 洋二



(経歴)

愛知教育大学初等教育教員養成課程卒業。

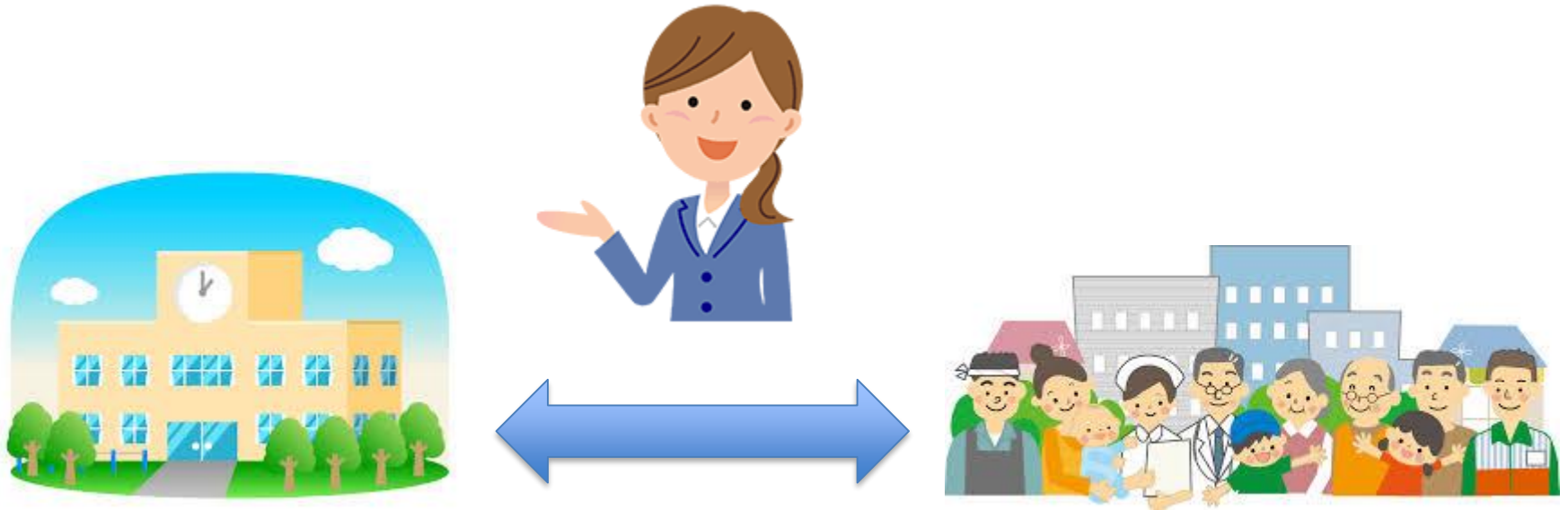
卒業後、愛知県内の学習塾に就職。塾講師として学習指導、校舎責任者として教室運営などに携わる。

その後、NPO法人アスクネットに入社。平成27年から愛知県高浜市学習等支援事業「ステップ」の運営責任者として、主に生活困窮世帯の中高生を対象とした無料の学習支援教室の運営を担当。平成29年からは愛知県大府市学習支援事業「まなポート」の立ち上げを担当。キャリア教育コーディネーターとして、行政・学校・地域・学生ボランティアを巻き込んだ場作りを行っている。

# NPO法人アスクネットの活動

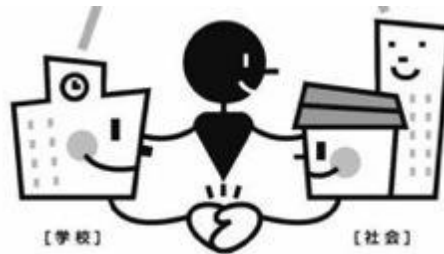
「キャリア教育コーディネーター」

- 学びあい育ちあう共同体づくり
- 「出会い」と「挑戦」の場づくり



社会人講師の  
コーディネート

教育CSR  
アイシン環境学習  
プログラム等



大学生PBL  
インターンシップ等  
コーディネート

高校生インターン  
シッププログラム

NPO法人アスクネット  
小学生から大学生までを対象にした  
キャリア教育プログラムをコーディネートする団体

# 高浜市の概況

名古屋市から南東へ25kmに位置する面積13.11km<sup>2</sup>（東西4.2km、南北5.5km）のコンパクトなまち

## ➤ 人口（2019年4月1日現在）

• 人口：48,863人

（年少人口：7584人（15.5%）、高齢者人口9,203人（18.8%））

• 世帯数：20,279世帯

（被保護世帯数：150世帯、被保護者数：210人、保護率4.30‰）

## ➤ 産業・経済

• 屋根瓦の生産量（三州瓦）：全国1位（約70%）

• 第2次産業就業人口比率：全国1位（51.8%）

## ➤ 社会資源等

• 市内に小学校5校、中学校2校、県立高校1校がある

• 福祉サービスの主要な関係機関を三河高浜駅前の「いきいき広場」に集約

• 市内5つの小学校区に住民互助型活動組織「まちづくり協議会」を設置

• 全国で唯一の瓦をテーマにした美術館「高浜市やきものの里かわら美術館」がある



全国平均28.1%  
(H30.9.15時点人口推計)

全国平均16.9%  
(H29.2現在)



# 高浜市学習等支援事業の歩み

2015年  
度

高浜市学習等支援事業「ステップ」開始  
(※中学1年生～3年生対象)

2016年  
度

- 「ステップ」の対象者を高校生まで拡大
- 小学生学習支援事業「あすたか」開始  
(※小学4年生～6年生のひとり親家庭対象)

2017年  
度

- 南部まちづくり協議会による子ども食堂「すこやかサテディ」との連携（毎月第2・第4土曜日、16時～19時）

2018年  
度

- 「あすたか」を「ステップ」に事業統合  
⇒小学4年生～6年生「ステップ・ジュニア」  
中学1年生～高校3年生「ステップ」

# 高浜市学習等支援事業のねらい

## ◆高浜市学習等支援事業のねらい

子どもの将来が**生まれ育った環境によって**左右されることのないよう、**支援が必要な生徒に対して、自ら将来を描くことができる**ようなプログラムを実施する。

- 平成27年7月25日より、  
高浜市学習等支援事業「ステップ」を開始  
事業主体：愛知県高浜市（福祉部）  
運営主体：特定非営利活動法人アスクネット

高浜市学習等支援事業  
...ステップ  
高浜市 学習等支援事業スタート  
毎週土曜日開校  
中学生無料学習サポート  
チャレンジ  
プログラムによる

高浜市は自らの道を自分で開拓していく中学生たちのチャレンジを応援します。  
(日 時) 毎週土曜日 9:30～16:00 (場 所) 高浜市いきいき広場3F  
※本事業は特定非営利活動法人アスクネットが高浜市より事業委託し運営しています。

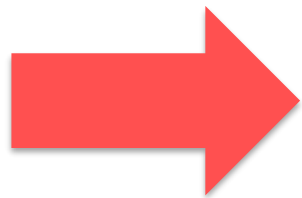
高浜市役所 福祉部 地域福祉グループ いきいき広場2F  
(TEL)0566-52-8871 (FAX)0566-52-7918 (Mail)hskw@city.takahama.lg.jp

# 「ステップ」の由来

「貧困」が壁となっ  
て自らの将来を描く  
ことが困難に



壁を  
「ステップ」に



学習  
支援

関係性  
の創出





# 支援内容

## 学習支援

- 生徒の習熟度や希望に合わせた学習支援を通じて、学習意欲の維持、希望する進路への支援等を行う
- 学習を通じた関わりの中で、高校進学後も自ら学ぶことができる姿勢の育成を目指す

## 関係性の創出

- 体験活動や生徒自身のキャリアを考えるイベントを実施し、生徒の将来を描くことができるように支援する
- 様々な大人や地域と関わるイベントを実施し、多様な価値観を持つ大人や地域との関係性を創出する

# 「ステップ」のコンセプト

## ◆ 「ステップ」のコンセプト

- 自らの将来に向けて歩いていくためのステップ
- 多様な関わり合いから自らの将来を描くためのステップ
- これまで壁と感じていた困難な状況を乗り越えるためのステップ

※ステップイメージ

## 「ステップ」

連携  
学校

事業主体  
高浜市

運営主体  
アスク  
ネット

連携  
地域の  
先輩や  
大人

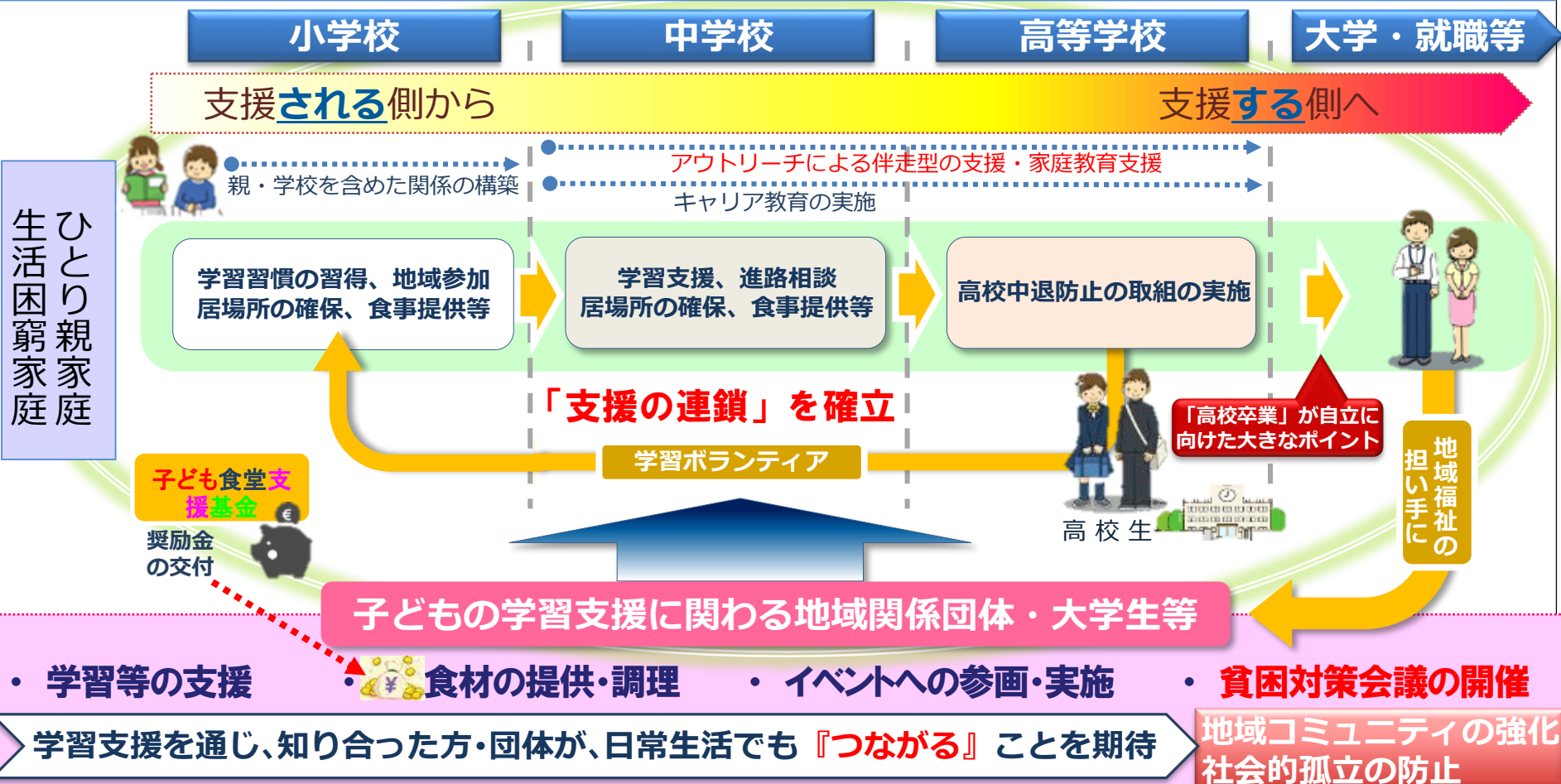
運営主体  
大学生  
高校生

チャレンジを  
サポート

支援が必  
要な生徒

# 高浜市学習等支援事業の全体像

- 小学校高学年から高等学校卒業まで、子どもの成長段階に即した**切れ目のない支援**を実施。
- **高校生になったときには**、小学生の学習ボランティアとして**活躍できる機会**を設ける。
- 支援が必要な子どもを**確実に支援につなげる**観点から、子ども健全育成支援員を増員し、**家庭訪問を強化**。
- まち協との連携や子ども食堂支援基金の立ち上げ、地域ボランティア団体との協働等、**地域との連携を強化**



# 「ステップ」概要

	「ステップ・ジュニア」	「ステップ」
開始時期	2018年度（平成30年度） ※「あすたか」と統合	2015年度（平成27年度）
対象者	ひとり親家庭、生活困窮世帯及び生活保護受給世帯、その他学習等の支援が必要と認められる者	
対象学年	小学4年～6年生	中学1年～高校3年生 ※定時制4年生含む
会場	高浜市いきいき広場（「三河高浜」駅前）	
開催日・時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木曜日：16時～19時</li> <li>・第1・3・5土曜日：9時～12時</li> <li>・第2・4土曜日：13時～16時</li> <li>※長期休暇中は火・木・土の週3回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日：9時～16時</li> <li>※長期休暇中は火・木・土の週3回</li> </ul>
学習支援ボランティア	主に市内高校の生徒・地域住民	主に県内の大学生・社会人
送迎	あり（学校⇄いきいき広場）	なし
実施回数（2018年度）	年間106回	年間62回
参加者数（2018年度）	のべ514名（1回平均約4.8名）	のべ1057名（1回平均約17名）

# 登録児童・生徒の割合（2018年度）

学年	人数	割合
小学4年生	3名	5%
小学5年生	5名	9%
小学6年生	4名	7%
中学1年生	8名	15%
中学2年生	6名	11%
中学3年生	9名	16%
高校1年生	11名	20%
高校2年生	4名	7%
高校3年生	5名	9%
合計	55名	100%

## ステップで大切にしていること

ステップでは、みなさんに「自ら学ぶ力」と「自ら将来に向けて歩んでいく力」を身につけてほしいと考えています。そのため、ステップでは学習だけでなく、様々なことにチャレンジしています。いろいろな人と関わり合いながら、一緒に歩いていけたらと願っています。



### ステップに参加する生徒の声

ステップに通う前は成績やテストの結果に関心を持つことがなかったけど、通ってから成績やテストの結果が大切だと感じました。また、異世代の人々と話せるようになりました。(中3女子)



受験のことで悩んでいたらいかがわからなかったけど、ステップに入って、前向きに考えることができたし、数学もわからない部分もわかるようになったのでうれしかったです。(高1女子)



ステップのお仕事体験講座を通して普通では体験できないような貴重な経験ができました。僕は中1なので、中2の職場体験もぜひ参加したいと思っています。(中1男子)



勉強を自分ができるまで教えてもらえるところが良かったです。他人と話す機会が多く最初はあまり話すことが好きではなかったけど、今では楽しいと思えるようになりました。(高1女子)



### 保護者の方の声

毎回ステップには、とても楽しく参加をしています。将来の目標が明確になり、それによって勉強もがんばるようになりました。勉強だけでなく進路などもサポーターさん達に聞いて、情報収集をしていました。これからよろしくお願いします。



学校で嫌なことがあり、だんだん学校にも行けず、明るかったのに家に閉じこもり、ほぼ寝て過ごすことが多くなったのですが、ステップだけは休まず行ってくれました。そこで仲良くしてくれる友達やサポーターさん達にも恵まれて、だんだん学校にも行ける日も増えました。勉強も少しずつわかるようになってきたのですごく助かりました。



### チャレンジサポーターOBの声



愛知教育大学 教育学部 卒業生  
チャレンジサポーターリーダー 関戸聡志

最初の頃は、みんなと仲良くなっていることをして毎回楽しかったです。ただ、途中から自分に何ができるか、この場所で何をすべきかで悩む時期もありました。そんな時、ふと周りを見るといつも子どもたちがいました。4年の間にみんなたくさん成長できていると実感できました。たくさんの方に出会えたステップが大好きです。

## ステップを支える地域の方たち



昼食の提供やイベントの実施、食材やお金の寄付など、地域の企業、団体、市民の方々が一体となってステップをサポートしています。学習だけでなく、地域社会での様々な関係性を作っていくことも重要であると考えています。



協力団体一覧(平成31年度)  
高浜南部まちづくり協議会/吉浜まちづくり協議会/高浜市更生保護女性会/高浜市食育ボランティア/特定非営利活動法人だいきずみず/特定非営利活動法人ハッピーパワー/高浜市民生児童委員協議会/高浜市農村生活アドバイザー/高浜市農用地利用改善組合/特定非営利活動法人のりのリフトワーク/真小飛騨の会/瀬小おやじの会/商工会女性部/高志会/NPO法人ファザーリングジャパン/南海/チーム佐々木/カイカタ会/チームKATO他、寄付をいただいている市民のみなさま(順不同)



たかはま子ども食堂支援基金  
寄付額 約59万円(平成30年度)

## チャレンジサポーター

大学生を中心としたチャレンジサポーターが学習と地域との関係性づくりをサポートしています。チャレンジサポーターも様々な研修を受講したり、大学での学びを実践・企画しながら子どもたちと一緒に成長していきます。



### チャレンジサポーター&ALT 講師との合同授業

教員志望のチャレンジサポーターが、ALTの講師と一緒に英語の授業をしました。英語に対して苦手意識を持っている生徒が多い中「体験的に楽しく学べるように」と、チャレンジサポーターが自ら企画して実現しました。



### チャレンジサポーターによるミーティングの様子

チャレンジサポーターは毎回の活動終了後にミーティングを行い、学習サポートの方法やその日の気づきなどを話し合っています。より良いサポートをするために、チャレンジサポーターも学んでいます。

## 高浜市学習等支援事業ステップとは

貧困や不登校、発達障がいなど子どもたちが抱える問題が多様化、深刻化するなか、高浜市では平成27年7月から特定非営利活動法人アスクネットに事業委託し、学習等支援事業「ステップ」を実施しています。

ステップでは、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのないよう、支援が必要な生徒に対して、自ら将来を描くことができるようなプログラムを実施しています。



### 【事業に関するお問い合わせ】

高浜市役所 福祉部 地域福祉グループ いきいき広場2F  
(TEL)0566-52-9871 (FAX)0566-52-7918  
(MAIL)fukushi@city.takahama.lg.jp

※本事業は特定非営利活動法人アスクネットが高浜市より事業委託し運営しています



〈日時〉毎週土曜日9:00~16:00

※夏休み期間中は週3回(火・木・土)開催しています

〈場所〉高浜市いきいき広場会議室B

※敷3分圏 三河高浜駅から徒歩1分

〈対象〉中学生・高校生

〈費用〉無料

午前のみ、午後のみ参加もOKです

## ステップでの1日の流れ

ステップは、毎週土曜日の9時から16時まで活動しています。自分のペースで学習でき、いろいろな大人たちがサポートしてくれる場所です。

**ポイント1**  
成績を上げるだけでなく、自ら学ぶ姿勢を身につけます

**ポイント2**  
地域の先輩や大人と一緒に様々なことに挑戦できます

**ポイント3**  
進路の悩みやご自身の悩みを相談できます

**ポイント4**  
勉強だけでなく、みんなで楽しめるイベントを実施します

**ポイント5**  
地域の方と一緒に勉強をとることができます



時間帯	活動内容	
9:00~9:30	受付	受付をして、学習の準備を行います。
9:30~9:50	朝の会	いろいろな人とコミュニケーションをしながら、活動する時間です。
9:50~10:50	第1ターム	学習する時間です。学校の宿題やテスト勉強などを中心に学習しています。
11:00~12:00	第2ターム	学習する時間です。学校の宿題やテスト勉強などを中心に学習しています。
12:00~13:00	昼食	地域の方と一緒に食事をします。 ※材料費 100円が必要です。
13:00~13:30	マイタイム	自主活動の時間です。自分たちで企画するイベントの話し合いをしたり、好きなことや興味のあることに取り組んでいます。
13:30~14:30	第3ターム	学習する時間です。その時間の目標を決めてから学習を始め、学習の後は振り返りをしています。
14:40~15:40	第4ターム	学習する時間です。その時間の目標を決めてから学習を始め、学習の後は振り返りをしています。
15:40~16:00	帰りの会	次に向けての目標設定をしたり、連絡事項の確認をしたりする時間です。

## 学習の様子

ステップでの普段の学習は、チャレンジサポーター1名に対して、生徒2~3名のグループ学習です。宿題の提出や定期テストの成績アップに向けて、目標を決めたり、振り返りをしたりと、工夫して学習しています。



### 学習サポート

ステップでは、学習の仕方を身につけることができます。例えば、最初にその時間の「目標」を決めます。学習の仕方が分からない人も、チャレンジサポーターと一緒に考えてくれます。また、もうひとつ大切にしているのが「振り返り」です。目標に対してどうだったのか、もっと良くするためにどうすれば良いかを一緒に考えます。他学年の人と一緒に学習することで、勉強の悩みや学校のことを話すこともできます。学校や学年の枠を越えて、みんなで楽しく活動しています。

### 宿題・テスト対策講座

定期テストの前には、チャレンジサポーターと一緒に目標を考えたり、効果的な学習法を話し合ったりしています。テストの後にはみんなで振り返りをします。また、夏休みや冬休みなど、たくさんの宿題があっても大丈夫。チャレンジサポーターと一緒に計画を立て、すべての宿題を提出できるようにがんばっています。これまでに宿題を出せなかった生徒が出せるようになりました。このようにステップでは、全員が自分たちで決めた目標に向かってがんばっています。

## イベントや地域との関わり

月1回程度、地域の方との交流や、社会人講師をお呼びしたイベントなどを行っています。単に学力を上げるだけではなく、社会に出ていく上で必要な様々な力を身につけていくことを大切に考えています。

### みらい7ー7

今、学んでいること、将来のつながりを見つめる講座です。これまでにお仕事体験講座や映画監督による講話、絵本づくりなどを実施しました。また、鬼みちつりなど地域のイベントにも参加しています。



### ぜっぴんワッキ

これまでに、地域の方との流しそうめん大会や、バレンタインのお菓子作り、留学生との交流でおにぎり作りなどを実施しました。



### ステップのわくわく学校

ステップの生徒たちやチャレンジサポーターが、自分たちで企画する講座です。チャレンジサポーターが大学で学んでいることを生かしたオリジナル講座などを実施しています。



### Q1

勉強する教材は何を使っていますか？

自分で学校の宿題を持ってきて進めています。ステップには教科書や辞書も置いてあるので、教材がなくても大丈夫です。

### A1



### Q2

勉強は誰が教えてくれるのですか？

大学生を中心としたチャレンジサポーターが学習をサポートしてくれます。わからないところを教えてくださいだけでなく、学習の仕方も一緒に相談することができます。

### A2



### Q3

前の学年の内容が不安なのですが、さかのぼって学習できますか？

前の学年の内容や小学校の内容も質問できます。少しでも心配なところはチャレンジサポーターに相談して、一緒に手を克服しましょう！

### A3



### Q4

土曜日は部活で忙しくなかなか行けません。途中からでも参加できますか？

午前または午後だけの参加や、途中で帰ることもできるので、部活との両立もできます。毎週参加できなくても大丈夫です。

### A4



## ステップ Q&A

ちいさき こころせい おとな  
地域の高校生や大人が  
ま 待ってます！

いえ がっこう  
ステップは家や学校とはちがう  
いばしょ  
3つめの居場所です



じぶん  
自分のペースで  
がくしゅう  
学習ができる！

みんなで  
たの  
楽しめる  
イベント！



へいせい わんど たかほまし がくしゅうどう しえん しぎょう  
平成31年度 高浜市学習等支援事業「ステップ・ジュニア」

しょうがく わんせい わんせい たいしゅう  
小学4年生～6年生対象

がく しゅう  
学習サポート

ていりゅう  
定員  
15名  
ていど  
程度

☆ステップでめざすこと☆  
その1：いっしょにまなぼう！

がっこう しゅくせい とく  
学校の宿題をいっしょに取り組み、  
じぶん まな ちから あ  
自分から学ぶ力を身につけよう！



☆ステップでめざすこと☆  
その2：いっしょにあそぼう！

こうこうせい おとな  
高校生や大人とコミュニケーションをとって  
たの ばしょ つく  
みんなで楽しい場所を作ろう！

たの 楽しいイベントも  
あるよ！

【日時】

曜日 毎週木曜日・土曜日  
※夏休み中は週3回（火・木・土）で行います。  
※学校行事により、変更する場合があります。

時間 学期中の平日 16:00～19:00  
第1・第3・第5土曜日 9:00～12:00  
第2・第4土曜日 13:00～16:00

【場所】

高浜市いきいき広場  
3階「ワーキングルーム」  
※いきいき広場まで送迎あり。

☆詳細はうら面にて

【事業に関するお問い合わせ】

高浜市役所 福祉部 地域福祉グループ いきいき広場2F  
(TEL)0566-52-9871 (FAX)0566-52-7918  
(Mail)fukushi@city.takahama.lg.jp  
※本事業は特定非営利活動法人アスクネットが高浜市より事業受託し運営しています。



ステップ(小学生) 6月予定表

平日：④16:00～19:00

土曜：第1,3,5⑤ 9:00～12:00  
第2,4③13:00～16:00

2019年6月(9回)						
月	火	水	木	金	土	日
					1 ⑤9:00～12:00 学習タイム 英語でじゃんけんゲーム	2
3	4	5	6 ④16:00～19:00 学習タイム カレンダーを作ろう！	7	8 ③13:00～16:00 まち協さんと管の遊び工作	9
10	11	12	13 ④16:00～19:00 学習タイム クロスワード	14	15 ⑤9:00～12:00 学習タイム 運動の日	16
17	18	19	20 ④16:00～19:00 学習タイム 計画を立てよう！	21	22 ③13:00～16:00 学習タイム 図書館で本を読もう！	23
24	25	26	27 ④16:00～19:00 七夕菓子の雑餅を作ろう 学習タイム	28	29 ⑤9:00～12:00 学習タイム マイプロジェクト	30

こうざよてい  
講座予定

持ち物：筆記用具、宿題、ステップ連絡帳

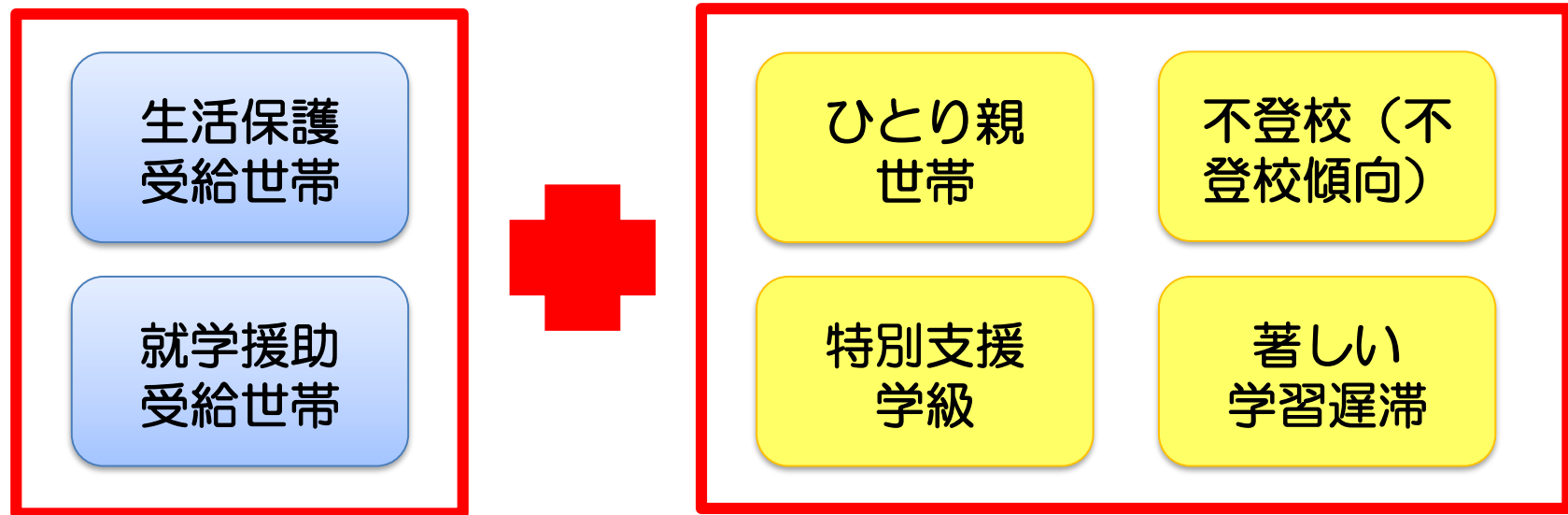
- 1日(土)「英語でじゃんけんゲーム」…ゲームをしながら、英語を学ぼう！
- 6日(木)「カレンダーを作ろう！」…教室に飾るカレンダーをみんなで作ろう！
- 8日(土)「管の遊び工作」…竹藪で遊ぼう！で、遊ぼう！
- 13日(木)「クロスワード」…みんなでクロスワードを作って、解いてみよう！
- 15日(土)「運動の日」…身体をいっぱい動かそう！
- 20日(木)「計画を立てよう！」…計画を立てて学習に取り組もう！
- 22日(土)「図書館で本を読もう！」…図書館に行って、本を読もう！
- 27日(木)「七夕菓子の雑餅を作ろう」…七夕の伝統お菓子の雑餅を作ろう！
- 29日(土)「マイプロジェクト」…自分の気になることについて、各自で調べ学習をしていきます。





# 参加児童・生徒について

## ➤ 対象児童・生徒



生活困窮世帯

将来の貧困のリスクが高い生徒



- 多様な子どもが集まる明るい場所
- 地域に開けた場所
- 将来の貧困のリスクを軽減

# 学習支援に参加する児童・生徒

## ➤ 児童・生徒の姿

- 家での学習の場が少ない（保護者の不在、兄弟の世話など）
- 生活習慣の乱れ
- 家族で出かけたり、大勢で食事をとることが少ない
- 褒められる・認められる経験が少ない
- 他者とのコミュニケーションが極端に苦手
- 将来に悲観的
- 「家庭の常識」が「社会の常識」



- 本来経験できるはずの機会が少ない
- 自己肯定感の低さが顕著に見られる
- 将来のモデルが少なく、将来を描けない

# 教育と福祉の連携



福祉部	子ども健全育成支援員	教育委員会
ケースワーカーから生活保護受給世帯に対して個別訪問をして利用を促す	学校や地域の情報の提供を受け、個別に相談に応じ、支援の必要があれば利用を促す	各中学校の担任教諭から就学援助受給世帯の中学生に対して利用を促す

## ➤ 対象生徒の拡大

- **生活保護受給世帯**だけでなく、**就学援助受給世帯**も対象
- ひとり親世帯、不登校（欠席日数が多い）、特別支援学級、学習の遅れなど、**今後の貧困のリスクが高い生徒**を必要に応じて受入

# 連携体制構築の必要性

## ➤ 多くの学習支援で抱える課題

- 多様な困難を抱えた子ども達にどうリーチするか

⇒生活保護受給世帯以外にも困難を抱えた子ども達がいる

- 対象を「生活保護受給世帯」に限定してしまうことの弊害

⇒「利用者＝生活困窮世帯」というイメージ

閉鎖的な場になってしまう恐れ

特定の境遇の生徒だけの場所

- 多様な困難を抱えた子ども達への支援の場

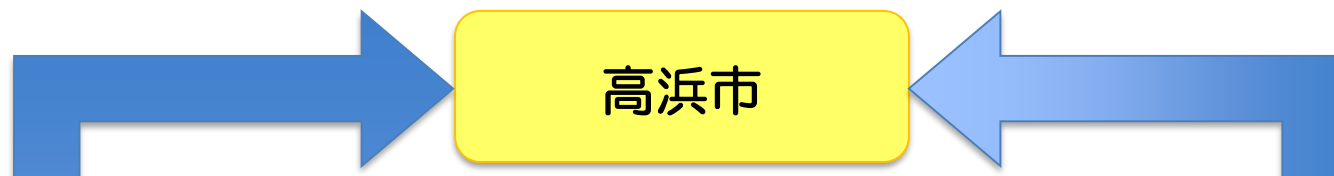
- 「福祉」と「教育」の連携が必要

⇒高浜市では福祉部と教育委員会の連携体制を構築



# 行政・学校との連携

## ➤ 行政・学校との連携

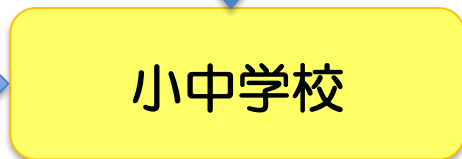
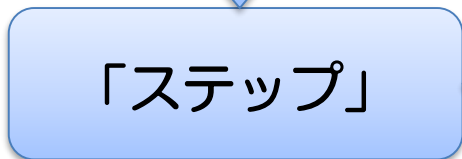


・ 毎月1回の定例ミーティング  
⇒ 児童生徒の出席状況と様子の報告、運営に関する意見交換など

・ 対象者への参加促し  
⇒ 年度初めの校長会で依頼  
  
・ 児童生徒の情報共有のやり取り

・ 通信の発行  
⇒ 小学生は毎月、中高生は隔月

・ 相互交流  
⇒ 学校見学、学習支援教室の授業見学、合同研修会など



# 高校生世代への支援・追跡

## ➤ 高校生世代への支援拡大

- 対象を高校生まで拡大（2016年より）
- 高校生対象「キャリアカウンセリング」  
⇒ キャリアコンサルタント等による個別面談（希望者）
- 追跡調査の実施（郵送・電話等）  
⇒ 高校生世代に対する進路希望状況や中退リスク等の把握
- 2018年度高校卒業年次の進路状況  
⇒ **登録者：全員が第1希望の進路に決定（進学・就職）**  
**追跡可能な過去登録者：全員が進路決定（進学・就職）**

# 地域との連携

## ➤ 社会人講座

- 月1回程度、職業や生き方などについての講座を実施



## ➤ 図書館から本の貸し出し（小学生）

- 毎月約30冊の本を貸し出し



# 地域との連携

## ➤ 昼食支援

- 毎回の昼食を支援（地元の約20団体が支援に協力）
- 準備、食事、片付けを生徒と一緒にやり、  
家庭教育を補う

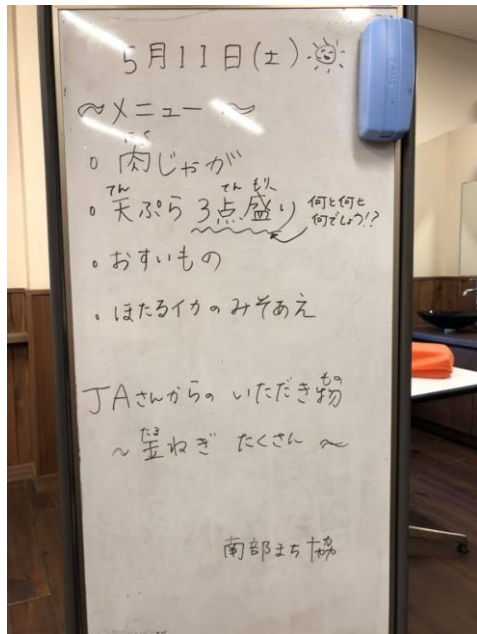


- 様々な社会体験を補う場
- 異年齢の人とのコミュニケーションの場
- 地域で支える意識作りの場



# 地域との連携

- 「すこやかサタディ」（南部まちづくり協議会）
  - ・ 毎月第2・第4土曜日の16時頃～19時から、地域共生型福祉施設「あっぽ」にて子ども食堂を開催
  - ・ 現在、10団体以上が食事提供に協力



# チャレンジサポーターの活動



## ➤ 学習支援

- 生徒2～3名に対し、チャレンジサポーター1名のグループ学習。
- 生徒を担当制にせず、多くの人と関わるようにする。

## ➤ 関係性の創出

- 話し合い活動でコミュニケーション力をのばす。
- 生徒向けイベントの実施。



- 基礎学力の定着
- 他者と協力しながら「頼り・頼られる」経験
- コミュニケーション能力の育成
- 生徒のロールモデル

# チャレンジサポーターの活動

## ➤ チャレンジサポーターの活動の場

- 学習支援の運営

## ➤ 成長の場になる

- 多様な人との交流
- コーチング研修等の研修を実施

## ➤ 場作りについて自ら考え運営する

- 毎回、実施後に振り返り会を実施
- 定例ミーティング

⇒運営内容について自ら考えて実施することができる



**➡ 関わる人全員が「学びあい」「成長」できる場に**

# 地域連携の仕組み作り

➤ 高浜市全体で子ども達を見守る仕組み作り

- 「子ども貧困対策会議」の設置

⇒年2回、子ども育成に関わる関係者が集まり、学習支援等に関して検討

- 「たかはま子ども食堂支援推進協議会」の設立

⇒「こども食堂支援基金」を設立し、子ども育成に関わる食事支援の活動を支援

# 「子ども貧困対策会議」の設置

- 子どもの教育に関わる**地域の関係者相互の情報共有やネットワークの構築**を図るとともに、生活困窮家庭や1人親家庭の子どもに対する**支援の在り方・今後の関連施策の取組の方向性等について検討**を行い、市の将来を担う子どもたちを地域で一体となって育てる機運の醸成、土壌づくりを図ることを目的とする。

## ◆検討事項

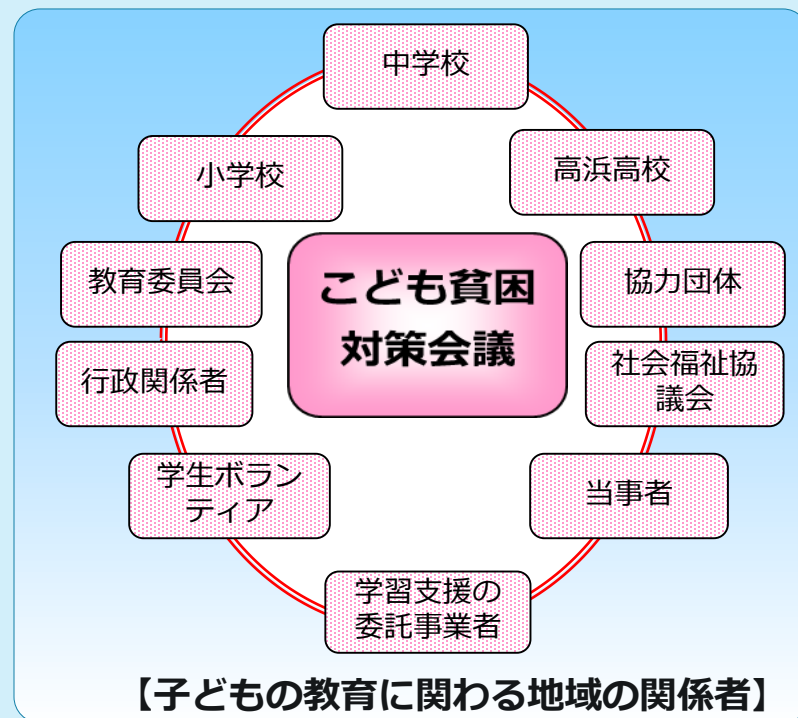
- (1) 生活困窮家庭及び1人親家庭の子どもに対する支援の在り方・今後の関連施策の取組の方向性
- (2) 地域の関係者（市、学校、家庭、地域の企業・事業所、住民、委託事業者等）の役割分担、連携、ネットワークづくり
- (3) その他

## ◆委員

子どもの貧困対策について見識を有する者、その他市長が必要と認める者

## ◆オブザーバー

庁内関係部署のGL、実務担当者



# こども食堂支援基金の概要

- 「孤食」や「栄養の偏り」など子どもたちの食事を取り巻く環境が大きな社会問題となるなか、高浜市では、毎週、地域の方々がボランティアで「ステップ」に通う子どもたちへ栄養バランスのとれた食事を安価で提供しています。
- たかはま子ども食堂支援推進協議会では、こうした市の将来の担い手を育てる市民の活動を将来にわたって継続的に推進していくため、新たに「こども食堂支援基金」を設置し、市民の皆さまや市内外の企業の方々から寄付を募り、子どもたちの「豊かな学び」と「健やかな成長」のために活用しています。



# 学習支援の役割

## 【学習支援＝課題解決のための「場」】

【課題】 子どもの貧困問題の解決

### 【支援内容】

学習支援  
関係性の構築  
生活支援  
食事支援  
キャリア教育

### 【地域資源】

大学生  
高校生  
地域の大人  
企業  
地域イベント

### 【連携先】

行政  
NPO・市民  
教育関係  
福祉関係  
企業